

# 環境経営レポート

## 2021年版

ヒューマンリレーションネクスト株式会社

対象期間：2021年1月～12月

発行日：2022年 2月 18日



---

## 目次

---

1	組織の概要	2
2	対象範囲	2
3	環境経営方針	3
4	実施体制	4
5	環境経営目的・目標と実績	6
	5-1 中長期目標	
	5-2 1年運用結果	
6	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
7	取組の様子	11
8	教育・訓練の実施	12
9	内部監査の実施	13
10	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	13
	10-1 環境関連法規等の遵守状況	
	10-2 違反、訴訟等の有無	
11	代表者による全体評価と見直しの結果	14

---

## 1 組織の概要

---

事業所名及び代表者名	ヒューマンリレーションネクスト株式会社 代表取締役社長 白石光則								
所在地	〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-16-9 松浦ビル 2F								
環境管理責任者の氏名	吉野 香奈								
及び担当者連絡先	TEL : 03-3525-8990      FAX : 03-3525-8997								
事業内容	コンピュータシステムの企画・開発・運用・保守 等								
事業規模	<table border="1"><tr><td>設立</td><td>2013年7月1日</td></tr><tr><td>資本金</td><td>1億円</td></tr><tr><td>従業員数</td><td>125名</td></tr><tr><td>床面積</td><td>297.00m<sup>2</sup></td></tr></table>	設立	2013年7月1日	資本金	1億円	従業員数	125名	床面積	297.00m <sup>2</sup>
設立	2013年7月1日								
資本金	1億円								
従業員数	125名								
床面積	297.00m <sup>2</sup>								
事業年度	7月～6月								

---

## 2 対象範囲

---

認証登録の範囲	本社常駐者 (15名)
認証・登録の業務	コンピュータシステムの企画・開発・運用・保守 等
環境レポートの対象期間	2021年1月～12月
環境レポートの発行日	2022年 2月 18日

---

## 3 環境経営方針

---

ヒューマンリレーションネクスト株式会社は、一人ひとりが「地球環境保全」を認識し、環境に配慮した事業活動を推進して参ります。

### 【基本方針】

当社は、事業活動の過程で発生する環境負荷を低減するとともに、お客様へ IT サービスを提供することにより環境保護に貢献できるよう以下の基本方針のもと、自主的な環境保護活動を推進します。

1. 当社は IT サービス事業が環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に最善な範囲内で環境経営目的・目標を設定・運用し、資源の有効活用と環境保全に努めます。  
また IT ソリューションにより、環境負荷低減、省エネルギーにつながるシステムをお客様に提供することにより、地球環境保全及び改善活動を展開します。
  - ( 1 ) 電力使用量削減による二酸化炭素排出量削減に努めます。
  - ( 2 ) 紙使用量の削減、廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出量削減に努めます。
  - ( 3 ) 水使用量削減に努めます。
  - ( 4 ) グリーン購入の積極的な拡大・促進に努めます。
  - ( 5 ) RoHS 指令に適合した製品を購入し有害物質の低減に努めます。
  - ( 6 ) 地域・社会貢献活動への積極的参加に努めます。
  - ( 7 ) 働きやすい環境整備に努めます。
2. 当社の事業活動に適用される環境に関する法律、条例、規制、協定、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. 全従業員への定期的な環境教育等を通じて、環境経営方針、環境経営目的を周知し、一人ひとりの環境意識の向上を図ります。
4. 本環境経営方針は一般へ開示します。

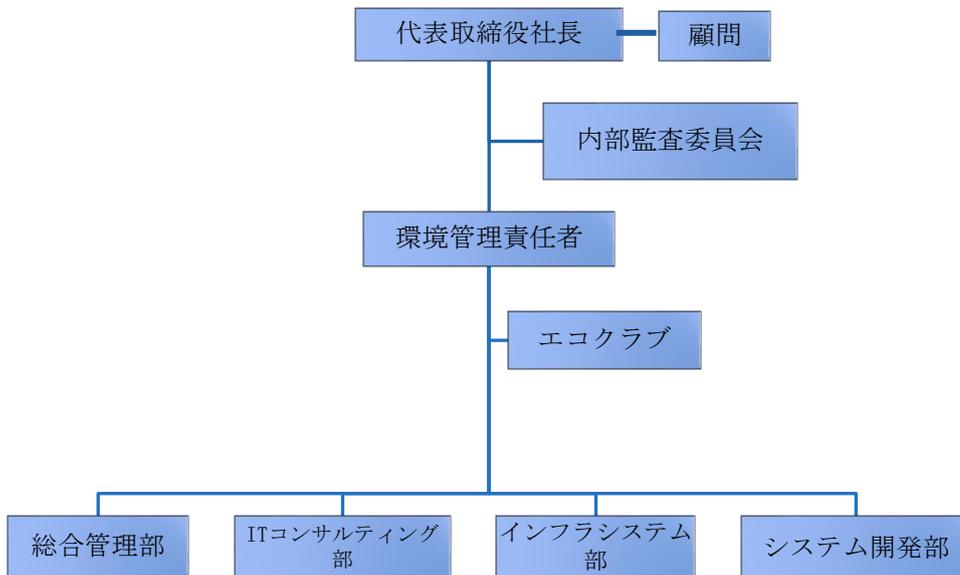
制定：2015年3月20日

改定：2019年8月1日

ヒューマンリレーションネクスト株式会社

代表取締役社長 白石 光則

## 4 実施体制



役割、業務	
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・ 環境経営方針の策定及び周知</li> <li>・ 当社の環境経営目的・目標の承認</li> <li>・ 環境経営目的・目標に改訂の必要がある場合は環境管理責任者に見直し案の作成を命じる</li> <li>・ 環境マネジメントシステム実施に関する資源の準備 (人的資源、専門的技能、組織のインフラストラクチャー、技術、資金)</li> <li>・ 環境マネジメントシステムの見直し</li> <li>・ 環境管理責任者の任命、内部監査員の任命</li> <li>・ 著しい環境側面の承認</li> <li>・ 環境教育計画及び実施記録の承認</li> <li>・ 環境マニュアル及び緊急事態の対応手順の承認</li> <li>・ 是正・予防処置の経過報告書の承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境側面の定期・臨時抽出</li> <li>・ 著しい環境側面の特定、一覧表作成</li> <li>・ 環境経営目的・目標及び実施計画の原案策定・見直し</li> <li>・ 環境経営目的・目標及び実施計画の周知・徹底</li> <li>・ 外部から問い合わせ、要求を受けた場合の対応と内部・外部コミュニケーション受付表の管理</li> <li>・ 教育訓練計画のとりまとめ・策定</li> <li>・ 教育訓練の実施、実施記録の管理</li> <li>・ 法的その他の要求事項の特定と一覧表の作成・追加・改訂</li> <li>・ 環境マネジメントに関する部門長への指示</li> <li>・ 環境文書記録の保管・管理</li> <li>・ 環境配慮への取組を運用管理するためのマニュアル整備</li> <li>・ エコクラブ構成員の承認</li> <li>・ 環境マネジメントに関する文書の作成・見直し・管理</li> <li>・ 環境に影響を与える可能性のある緊急事態・事故の特定</li> </ul>

	及び緊急事態対応マニュアル整備 ・ 防火訓練記録及び消防設備点検記録の保管 ・ 是正・予防処置の管理 ・ 内部監査の管理 ・ マネジメントレビューの為のインプット情報提供
各部門長	・ 環境管理業務の執行、社長・環境管理責任者の補佐 ・ 内部監査時の立ち合い ・ 部門内で使用している機器の管理 ・ 不適合の調査及び是正・予防処置案の策定
従業員	・ 環境経営目的・目標の実施 ・ 地球環境保全を認識し、環境に配慮した事業活動の実施
エコクラブ	・ 著しい環境側面の特定及び実施計画の検討 ・ 当社の環境経営目的・目標及び実施計画の原案策定 ・ 教育訓練内容のニーズを提案
内部監査委員会	・ 内部監査計画書及びチェックシートの準備 ・ 内部監査の実施 ・ 不適合事項の指摘と是正依頼

## 5 環境経営目的・目標と実績

### 5-1 中長期目標

環境経営目的	単位	基準年	年度環境経営目標			
		2019年	2020年	2021年	2022年	
電力使用量削減	kWh	16,037	15,912 (基準年-1%)	15,752 (基準年-2%)	15,591 (基準年-3%)	
二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	7,619	7,543 (基準年-1%)	7,467 (基準年-2%)	7,390 (基準年-3%)	
廃棄物排出量削減	kg	120.40	120.40 (基準年と同じ)	120.40 (基準年と同じ)	120.40 (基準年と同じ)	
水使用量削減	m <sup>3</sup>	136.00	136.00 (基準年と同じ)	136.00 (基準年と同じ)	136.00 (基準年と同じ)	
グリーン購入促進	品目	6	毎年6品を継続的に購入する			
地域・社会貢献活動への積極的参加	グリーン募金への参加、地域の清掃活動やボランティアへの参加等					
電子機器のRoHS適合製品購入	数値目標は定めず、コスト比較をしながらRoHS適合製品を積極的に購入する					
文書の電子化促進	既存文書電子化案件の月納品数確実達成					
働きやすい環境の整備	フレックス制度・ノー残業デー・テレワークの導入等					

※目標値は各年2019年度1月から12月の実績を基準にして算出。

※二酸化炭素排出係数は、H30年度東京電力エナジーパートナー(株)の調整後係数0.474kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

※化学物質は取扱っていないため、目標設定なし。

5-2 1年間運用結果

環境目的	単位	基準値	目標値	実績値	目標比 (%)
		2019年	2021年	2021年	
電力使用量削減	kWh	16,037	15,752 (基準年-2%)	11,936	76%
二酸化炭素排出量 削減	kg-CO2	7,619	7,467 (基準年-2%)	5,658	76%
一般廃棄物排出量 削減	Kg	120.40	120.40 (基準年と同じ)	107.6	89%
水使用量削減	m3	136.00	136.00 (基準年と同じ)	93	68%
グリーン購入促進	品目	6	6	7	117%
地域・社会貢献活動への 積極的参加		グリーン募金への参加、 地域の清掃活動やボランティアへの参加 等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・花と緑の東京募金参加</li> <li>・赤十字募金参加</li> <li>・千代田区一斉清掃参加</li> </ul>	50%
電子機器のRoHS適合 製品購入	%	数値目標は定めず、コスト比較をしながら RoHS適合適合製品を積極的に購入する			-
文書の電子化 促進	-	既存文書電子化案件の月納品数 確実達成		100%	100%
働きやすい環境 の整備	-	フレックス制度・ノー残業デー・テレワー クの導入 等		働きやすい環境整備が継 続して達成できた	100%

## 6 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 電力使用量削減（二酸化炭素排出量削減）

※評価表示（達成＝○、未達成＝×、評価なし＝－）

活動内容	取組結果	次年度の取組内容
空調の適温設定（目安：夏場 28 度 冬場 22 度）	○	継続
空調の必要最低限使用	○	
パソコンの省電力設定	○	
使用していない照明は消灯	○	
使用していない機器は、コンセントから外す	○	
帰宅時、必要以外の機器はコンセントから外す	○	
照明や照明器具のカバーの掃除をこまめに行う	○	
エアコンのフィルター掃除を定期的に行う	○	
クールビズ・ウォームビズの実践	○	
出張旅費及び、交通機関の利用を控え、近距離の移動は徒歩で移動する	○	
業務効率化を進め、残業による電気使用量を減らす	○	
不要なメールを定期的に削除しサーバの負担低減	○	
サーバは自社内へは設置せず、データセンターを利用	○	
サーバ統合・ストレージ統合による電力消費の効率化	○	
<b>評価</b>		
<p>テレワークにより出社人数を低減できたことが大きな要因。本年も社員一丸となり積極的に取り組むことが出来た。</p> <p>また 2020 年 11 月半ばより空調機器が変更したこともあり、2021 年度は全体的な電気使用量を低減できた。</p> <p>継続的な取り組みとして、冬場はウォームビズの推進、社内でのコートの着用やひざ掛け、防寒器具の使用、夏場はスーパークールビズの推進、扇風機の使用の推奨と実施により、電気使用量の削減に繋げることができた。</p>		

## 一般廃棄物排出量削減

活動内容	取組結果	次年度の取組内容
裏紙再利用	○	継続
廃棄物の分別徹底	○	
ペーパーレスの業務を行う（業務に支障の無い範囲）	○	
社内承認は電子印で行う	○	
マイ箸を携帯し使用する	○	
詰め替え用商品を積極的に取り入れ容器の再利用をする	○	
簡易包装・レジ袋の削減をする	○	
水筒を持参する	○	
シュレッダーごみはリサイクル業者へ引取を依頼	○	
<b>評価</b>		
<p>積極的に取組むことができ、年間目標は達成することができた。一方で廃却年度を迎えた書類の処分や大掃除による廃棄物増加等の影響により、特に10月～12月の廃棄物排出量が目標を上回ってしまった。来年度も継続して各自水筒・弁当箱・マイバッグの持参、裏紙の再利用を継続的に呼びかけるとともに、従業員定着に向けて取り組むことで改善を図っていく。</p>		

## 水使用量削減

活動内容	取組結果	次年度の取組内容
不要な水の使用を抑え、節水をする。	○	継続
<b>評価</b>		
<p>積極的に取り組むことができ、各月ならびに年間の目標も達成することができた。</p> <p>節水の注意喚起を促すポスターを継続して掲示、社内報や社内共有会等での定期的な呼びかけ等により、全従業員へ節水の意識をもつよう呼びかけを徹底して行っていく。</p>		

## グリーン購入促進

活動内容	取組結果	次年度の取組内容
環境ラベル認定製品や省エネルギー基準適合製品など、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入する	○	継続
<b>評価</b>		
<p>継続的に積極購入することが出来た。今後も必要な備品を購入する際は、環境への負荷が少ないものを購入していく。</p>		

### 電子機器の RoHS 適合製品購入

活動内容	取組結果	次年度の取組内容
RoHS 指令準拠製品を優先して購入する	○	継続
<b>評価</b>		
コスト比較をしながら、購入出来る時は積極的に購入することが出来た。		

### 地域・社会貢献活動への積極的参加

活動内容	取組結果	次年度の取組内容
緑の東京募金への参加	○	継続
赤十字募金への参加	○	継続
賞味期限切れ間地近の食材を子供食堂や NPO へ定期的に寄贈・提供を行う	-	継続
地域の清掃活動やボランティアへの参加	○	継続
<b>評価</b>		
賞味期限切れ間近の食材は、今年度は発生しなかったため実施しなかった。花と緑の東京募金と赤十字募金への参加も行い、今年は 11 月に千代田区一斉清掃にも参加し改めて地球環境保護への意識を高めることができた。今後も積極的に取り組んでいく。		

### 文書の電子化促進及び発展

活動内容	取組結果	次年度の取組内容
既存文書電子化案件の月納品数確実達成	○	継続
<b>評価</b>		
毎月の最低納品数に対して各月 100%以上の成果、納期遅れも発生しておらず、既存文書電子化案件は今年度も達成できた。来年度も継続していく。		

### 働きやすい環境の整備

活動内容	取組結果	次年度の取組内容
テレワークの実施	○	継続
ノー残業デーの実施	○	継続
フレックス制度の実施	○	継続
<b>評価</b>		
テレワーク・ノー残業デー・フレックス制度ともに積極的に取り組むことができた。		

## 7 取組の様子

### (節電対策)



節電の呼びかけ

蛍光灯の間引き

### (節水対策)



節水

### (廃棄物対策)



ゴミの分別

### (地域清掃活動)



清掃活動

## 8 教育・訓練の実施

毎年8月に全社eラーニングを実施。

入社時にも必須教育として受講させ、当社の環境方針、環境目標、環境活動計画などを必ず理解してもらっている。

従業員が環境に関する知識を十分に持てる様、以下内容を教育内容として盛り込んでいる。

内容	対象者	実施方法
・環境マネジメントシステム全般について (環境マニュアルで従業員へ周知)	新入社員(新卒、中途)	eラーニング
・環境方針、環境目的、環境目標について	全従業員(年1回)	※テストは合格点に至るまで再実施
・環境活動計画について		
・世界の環境問題現状について		
・緊急時の対応について		

更に昨年度から社内報において継続して「地球環境問題を考える」のページを作成。

今すぐに全社員が取り組むべきことを継続的に啓蒙している。

(参考) 社内報 「地球環境問題を考える」 ページ

**地球環境問題を考える**  
～生活の変化からみる、私たちがすべきこと～

1 min. column

今月のテーマ：食品ロス

食品ロスは食べられるのに捨てられる食品のことで、その量は日本国内で年間600万tと推計されています。これは1人当たり年間約47kgの食品を無駄にしている計算です。

**大量の食品ロスが発生すると・・・**

- ・廃棄するための処理に多額のコストがかかる
- ・可燃ごみとして燃やすことで、二酸化炭素が排出される
- ・焼却機に灰が発生し、埋め立て地を圧迫する

食品を

**＜食品ロスの主な理由＞**

- 食べ残し
- 食品の痛み
- 期限切れ

→

- ・ **買いすぎない**
- ・ **作りすぎない**
- ・ **食べきる**

工夫が大切です！！

～出来ることから始めよう～

- ・ 買い物に行く前に、家にある食材を確認し、必要な分だけを買う
- ・ 冷凍や乾燥の下処理等、食材を長持ちさせる工夫をする
- ・ 作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピ等で食べきる

9月号

**地球環境問題を考える**  
～生活の変化からみる、私たちがすべきこと～

1 min. column

今月のテーマ：暖房

少しずつ寒くなり、暖房を利用する方が多いと思います。電気を使用することで、二酸化炭素が排出されるだけでなく、**実は冷房以上の電気代がかかる**ことをご存知でしょうか？そこで今月はエコを意識した、暖房の上手な使い方をご紹介します！

**暖房の上手な使い方**

- エアコンは「自動運転」にする  
設定温度にするまで最も電気を使用するため、弱運転モードではなく、**自動運転で一気室温を上げる**方が電気代が安くなります！
- 外の冷気をシャットアウトする  
窓はガラス1枚で薄いため、外の冷気を取り入れやすく、せっかく暖めた室内の空気を冷やしてしまいます。→**窓の断熱**が効果的です！  
(例) ・窓を「断熱ガラス」にする  
・厚手のカーテンや断熱カーテンにする  
・日光が入らない時はブラインドやカーテンを閉める
- 扇風機・サーキュレーターを併用する  
エアコンから吹き出た暖かい空気は部屋の上に溜まるため、**扇風機やサーキュレーターを上に向けて回し、空気を循環**させると、暖かい空気が下へ下りてきます！
- こまめにフィルターを掃除する  
フィルターが詰まっていると、エアコンの性能が落ちて余計な電気代がかかります。→**2週間に1度はフィルターのお手入れ**をしましょう！

12月号

## 9 内部監査の実施

毎年12月に内部監査を実施し、自社内の取組みが適切に行われているか厳正な審査を行っている。審査内容と結果は以下の通り。

### 【監査内容と結果】

A：適合（エコアクション21要求事項や、自社が定めたルール、目標等を満たしている）

B：不適合（エコアクション21要求事項や、自社が定めたルール、目標等を満たしていない）

内容	評価	コメント
・ガイドライン要求事項の適合度	A	ガイドラインに適合しており、特に問題なく実施出来ている。
・当社が定めたルールの適合度	A	問題なく実施出来ている。
・環境目標、環境活動計画の達成度	A	環境目標は達成することが出来た。 環境活動計画については、全従業員で積極的に取り組むことが出来ている。
・法的要求事項の遵守状況	A	法律に沿う形で実施することが出来ている。

## 10 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに

### 違反、訴訟等の有無

#### 10-1 環境関連法規等の遵守状況 ※評価表示（達成=○、未達成=×、評価なし=—）

環境関連法規名称	遵守する事項	遵守状況と評価	順守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。	回収日時を遵守し、適正に処理を行った。	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	対象家電4品目を破棄する場合、小売業者による引取り及び製造業者等によるリサイクルが義務付けられ、消費者には収集運搬料金とリサイクル料金を支払うことが定められている。	該当家電の廃棄無し。	—
使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）	下記機器について廃却時各メーカーに回収、リサイクル依頼する。	当該機器の廃棄無し。	—

	携帯・スマートフォン、デジカメ、固定電話、扇風機、プリンター、時計、音楽プレイヤー等		
グリーン購入法	循環型社会の形成のために環境物品を選択、購入する	グリーン購入を積極的に推進出来た。	○
環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	年に一度の一斉教育実施、及び教材の社内ポータルサイト共有、環境ボランティア活動の促進。	一斉教育、教材の社内ポータルサイト共有、社内広報における環境問題・取組事例の共有等により推進できた。	○

---

## 10-2 違反、訴訟等の有無

---

環境関連法規等の違反及び訴訟は過去3年間ありません。  
また、関係当局からも過去3年間違反の指摘等はありません。

---

## 11 代表者による全体評価と見直しの結果

---

2021年度は本社勤務者数が増えたが、IT事業の特性を活かしテレワークの積極的な実施および、社員一人ひとりのエコに対する意識の高さにより、水と電気の使用量を大幅に削減することができた。引き続き全社員で協力の上維持し、環境保護に努める。

ヒューマンリレーションネクスト株式会社  
代表取締役社長 白石光則